



ニッポンの事業競争力を強くする! 事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業

事業概要

各グループ概要

取組紹介

イベント

事務局通信

メディア掲載

report: 日本金属プレス工業協会

製造業界のモデルとなる業界内連携を視野に入れたBCP策定をめざす

運営事務局
井上禎子

7月より運営事務局メンバーとして当モデル事業に参加させていただくことになりました井上です。皆様の取組が計画以上の成果を生み、中長期的な発展につながるお手伝いのできるのが楽しみです。

今回は一般社団法人日本金属プレス工業協会様(以下「協会」)の取組について紹介させていただきます。協会では今回の取組の名称を「金属プレス業界向け『事業継続マネジメントシステム』の開発および普及による企業競争力強化基盤構築プロジェクト」と称しており、今期の全体作業を大きく、

1. JMSA BCMS(プロトタイプ)作成
2. モニター企業1社でのプロトタイプモニタリングおよび認証取得による「JMSA BCMS」の評価
3. 業界全体への普及活動

の3段階に分けています。

協会の会員企業は全国に点在していますが、東南海地震で大きな被害を受けるといわれているエリアに集中しているため、国内産業のみならず、自動車をはじめとした輸出産業も未曾有の被害を受けると予想されます。そのため、一企業のみでの災害対策でこと足りるものではなく、全国の主要工業地域に立地する会員企業、さらに関連企業の事業継続、そして主要地域間の相互協力による初動・復旧対応の速さを高めることが急務の課題です。本モデル事業では、協会の旗振りのもと、金属プレスのBCMS構築の標準となるようなガイドライン「JMSA BCMS」をコンサルティングを受けて開発し、協会会員間に普及させる基盤を構築することを目標としています。

さて、去る7月30日、キックオフミーティングが神奈川県のとある工業団地に立地するグループ参加企業にて執り行われました。当日は経産省の宮尾課長補佐をはじめ、参加企業社長、協会専務理事の南澤様、日本CSR協会運営事務局長 秋庭様等、多くの関係者の出席のもと和やかに進行しました。

冒頭、宮尾課長補佐より、今回の取組の主目的は認証取得に留まるものではなく、グループ単位での事業継続活動は、製造業界のモデルとなりうる点で大きく期待しているとお話をいただきました。

参加企業社長からは導入に向けての決意表明がありました。従業員と家族を守るためにも事業継続が第一であり、年内の取得を目標に、会員企業に普及させるとともに周辺地域にも貢献したいと話されていました。また認証取得については既にISO9001の認証を取得していることもあり、概ねスケジュール通りに進行している旨の報告がありました。

中盤では、宮尾課長補佐が話された“強い事業継続”の仕組み作りについて、熱い議論がかわされました。今回の取組を通じた中長期的な課題は、災害時の企業間連携、すなわち金属プレス業界内での部品提供や代替生産での連携をどう実現するかということです。有事における臨時かつ緊急的な対応とはいえ、重要な守秘事項がやりとりされることとなりますので、それを事前にオープンにすることは容易ではありません。そのハードルを越えて、希望する企業同士が連携するための橋渡しをする仕組みをいかに構築するかが今後の協会の課題です。

三ーディングの後半には今回のBCP策定プロジェクトの担当者も参加され、真摯で率直なご意見を述べられました。その前向きな姿勢に、近い将来、業界内で理想的な標準BCMSが広がるであろうことを予感いたしました。

≡ ーティング終了後は、社長自らのご案内で工場見学となりました。工場内は非常に整理整頓が行き届き、社員の方々の勤務姿勢も素晴らしく、ここまで5Sが徹底された会社であれば、BCMSの構築もスムーズに進み、現場での徹底もなされることは間違いないと確信した次第です。当事業の中でも業界標準としてBCPを構築する取組はこのグループのみということで、日本の製造業をより強固にする仕組みのプロトタイプができることを期待したいと思います。👏👏